



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月30日

上場会社名 フジオーゼックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7299 URL <http://www.oozx.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 辻本敏
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員統括本部長(氏名) 藤川伸二 (TEL) (0537)35-5873
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,237	0.5	349	△20.1	373	△9.7	294	10.5
2019年3月期第2四半期	11,186	12.6	437	△40.7	413	△53.2	266	△58.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 169百万円(△68.3%) 2019年3月期第2四半期 533百万円(△30.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	143.07	—
2019年3月期第2四半期	129.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	36,832	25,790	67.5
2019年3月期	34,977	25,745	70.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 24,843百万円 2019年3月期 24,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2020年3月期	—	60.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	△3.0	900	0.5	900	△4.4	600	△3.6	292.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2,055,950株	2019年3月期	2,055,950株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,945株	2019年3月期	1,945株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	2,054,005株	2019年3月期2Q	2,054,045株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる条件等については四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用者所得や個人消費が緩やかに回復し企業収益や国内生産は堅調に推移するものの、輸出は貿易摩擦等による下押し、設備投資は先行きの不透明感から慎重な動きと、景気は全般的には減速感が見られております。

一方、世界経済につきましては、米国は中国との貿易摩擦により減速基調となっておりますが、雇用情勢良好の継続や政府の金融緩和姿勢等により個人消費が好調に推移したことから内需を堅調に引上げ、景気も底堅く推移しております。中国は米国との貿易摩擦の影響による輸出の鈍化に加え内需も回復が遅れ、政府による投資抑制策の見直し等の下支えにより景気失速感を回避している状況となる等、減速傾向が続いております。

当社グループの属する自動車業界につきましては、国内需要は、全体を通しては前年同期を大きく上回る販売となりました。一方、北米全需は前年同期を下回る販売で推移しております。乗用車・トラックともに減少となる等厳しい状況が続いており、日系メーカーにつきましても前年同期を下回る販売となっております。中国全需は、前年同期を大きく下回る販売となる中、政府の景気対策により地方では日系メーカーを中心に若干の増加傾向となっております。

このような市場環境の中、当社グループは、欧州顧客への販売および海外の生産拠点からの販売の増加により前年同期に比較し、海外販売は39.3%の増加となりました。国内販売は、北米市場向け販売の落ち込みにより、前年同期に比較し11.2%の減少となりましたが、国内外を合わせると0.5%の販売増となりました。

経常利益につきましては、特に国内販売の北米市場向けの製品売上上の落ち込みの影響が大きく、また中空バルブに関しましては生産性改善が実を結びつつありますが事業拡大に伴う先行投資が続いたため、前年同期を下回る利益となりました。

以上の結果、売上高は11,237百万円（前年同期比51百万円増）、営業利益は349百万円（前年同期比88百万円減）、経常利益は373百万円（前年同期比40百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は294百万円（前年同期比28百万円増）となりました。

なお、当社グループは、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は36,832百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,855百万円増加しております。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は14,294百万円と前連結会計年度末に比べ472百万円減少しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・回収等により受取手形及び売掛金が820百万円減少しております。
- ・販売増加により商品及び製品が228百万円、仕掛品が216百万円、それぞれ増加しております。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は22,538百万円と前連結会計年度末に比べ2,326百万円増加しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・設備購入により有形固定資産が2,271百万円増加しております。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は9,533百万円と前連結会計年度末に比べ1,706百万円増加しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・運転資金等の増加により短期借入金が1,446百万円増加しております。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は1,508百万円と前連結会計年度末に比べ103百万円増加しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・返済等により長期借入金が84百万円減少しております。
- ・固定負債（その他）に含まれるリース債務が、IFRS第16号の適用により183百万円増加しております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は25,790百万円と前連結会計年度末に比べ46百万円増加しております。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」と言う。）は、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し、3,195百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,220百万円（前年同期比64.4%増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益373百万円、減価償却費1,020百万円、売上債権の減少額794百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額645百万円、営業活動によるキャッシュ・フロー（その他）に含まれる未払金の減少額285百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は2,602百万円（前年同期比3.3%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2,585百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は1,342百万円（前年同期は124百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増減額1,471百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月28日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,241,243	3,171,653
受取手形及び売掛金	5,428,121	4,608,045
商品及び製品	2,334,905	2,562,626
仕掛品	1,431,712	1,647,242
原材料及び貯蔵品	1,701,089	1,878,106
その他	636,750	433,542
貸倒引当金	△8,000	△7,000
流動資産合計	14,765,821	14,294,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,745,472	4,754,785
機械装置及び運搬具（純額）	9,609,689	11,134,957
土地	3,220,350	3,206,648
その他（純額）	2,046,081	2,796,345
有形固定資産合計	19,621,592	21,892,736
無形固定資産		
その他	156,193	144,515
無形固定資産合計	156,193	144,515
投資その他の資産		
その他	461,531	528,404
貸倒引当金	△27,950	△28,050
投資その他の資産合計	433,581	500,354
固定資産合計	20,211,367	22,537,605
資産合計	34,977,188	36,831,818
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,584,705	3,641,121
短期借入金	1,587,280	3,033,184
1年内返済予定の長期借入金	477,275	523,250
未払法人税等	157,958	162,734
賞与引当金	107,746	90,660
役員賞与引当金	25,900	10,350
その他	1,886,575	2,071,910
流動負債合計	7,827,440	9,533,210
固定負債		
長期借入金	1,290,234	1,206,094
役員退職慰労引当金	1,775	2,113
退職給付に係る負債	101,595	103,861
その他	11,554	196,176
固定負債合計	1,405,158	1,508,244
負債合計	9,232,598	11,041,454

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,800,499	2,800,499
利益剰余金	19,278,760	19,449,396
自己株式	△9,461	△9,461
株主資本合計	25,088,446	25,259,082
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△680	—
為替換算調整勘定	△146,301	△272,785
退職給付に係る調整累計額	△150,088	△143,181
その他の包括利益累計額合計	△297,069	△415,965
非支配株主持分	953,213	947,248
純資産合計	25,744,590	25,790,365
負債純資産合計	34,977,188	36,831,818

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	11,185,541	11,236,590
売上原価	9,221,711	9,354,440
売上総利益	1,963,830	1,882,150
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	475,808	430,219
荷造運搬費	338,244	378,291
役員賞与引当金繰入額	—	10,350
賞与引当金繰入額	8,688	5,971
退職給付費用	29,320	37,995
その他	675,071	670,496
販売費及び一般管理費合計	1,527,131	1,533,321
営業利益	436,698	348,829
営業外収益		
受取利息	5,115	2,958
受取配当金	310	310
受取賃貸料	27,355	16,934
受取補償金	27,925	27,930
その他	25,335	26,480
営業外収益合計	86,039	74,613
営業外費用		
支払利息	23,602	34,503
固定資産除却損	9,519	166
為替差損	54,217	3,699
賃貸収入原価	12,137	727
その他	10,599	11,536
営業外費用合計	110,074	50,631
経常利益	412,663	372,810
税金等調整前四半期純利益	412,663	372,810
法人税、住民税及び事業税	147,896	162,832
法人税等調整額	△238	△80,081
法人税等合計	147,659	82,752
四半期純利益	265,005	290,059
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,022	△3,817
親会社株主に帰属する四半期純利益	266,027	293,876

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	265,005	290,059
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△102	680
為替換算調整勘定	254,747	△128,712
退職給付に係る調整額	13,366	6,989
その他の包括利益合計	268,011	△121,043
四半期包括利益	533,016	169,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	533,336	174,980
非支配株主に係る四半期包括利益	△320	△5,964

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	412,663	372,810
減価償却費	890,867	1,019,545
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△100	△900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,337	△15,991
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51,900	△15,550
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	28,011	13,417
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△37,952	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△800	338
受取利息及び受取配当金	△5,425	△3,268
支払利息	23,602	34,503
有形固定資産処分損益 (△は益)	8,327	△584
受取補償金	△27,925	△27,930
売上債権の増減額 (△は増加)	△883	793,923
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△597,312	△645,185
仕入債務の増減額 (△は減少)	333,324	77,047
その他	161,775	△356,136
小計	1,130,935	1,246,040
利息及び配当金の受取額	16,213	3,269
利息の支払額	△25,810	△33,775
補償金の受取額	27,925	27,930
法人税等の還付額	—	122,078
法人税等の支払額	△407,157	△148,449
保険金の受取額	—	2,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	742,107	1,219,725
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,621,006	△2,585,398
有形固定資産の売却による収入	6,005	830
無形固定資産の取得による支出	△27,273	△12,932
その他	△47,540	△4,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,689,814	△2,601,577
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△222,007	1,471,184
長期借入れによる収入	221,080	200,000
長期借入金の返済による支出	—	△207,750
配当金の支払額	△123,243	△123,240
その他	—	1,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,170	1,341,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,810	△21,261
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,078,687	△61,537
現金及び現金同等物の期首残高	5,771,460	3,256,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,692,773	3,195,064

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が201,184千円増加し、流動負債の「その他」が15,045千円および固定負債の「その他」が182,760千円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。